

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成30年度第2回情報教育研究委員会合同会議議事記録
情報教育研究委員会
情報リテラシー・情報倫理分科会
分野別情報教育分科会

I. 日 時：平成30年6月22日（金） 18：00～20：00

II. 場 所：私立大学情報教育協会会議室

III. 参加者：斎藤委員長、箕田アドバイザー、大原アドバイザー、玉田主査、金子委員、中西委員、児島主査
事務局：井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

ICT 戦略大会分科会での提案に向けて、3コマ授業シナリオ・反転教材、対面授業の教材、専門教育との連携実践報告、推進方策などの内容を確認した。

1. 専門教育との連携実践報告について

モデル授業を行った報告が提出され、学生のルーブリック評価結果からシミュレーション部分が到達目標Cであるので、どのような評価をされたのか、時間的に不足であったのか、理解度向上のための工夫が何か考えられないかなど質問を想定した意見があった。

2. 教材について

(1) 到達目標Aについて

- ・ 例えば、レポート作成課題のところに、枠組みの各説明を織り交ぜてはどうか。
- ・ 共通のコツ部分で説明が書かれている方が良いのではないか。
- ・ 調べさせる部分では例示を出した方が分かりやすいのではないか。
- ・ 情報処理モデルと問題解決手法の図を入れているが再考することなどの意見があった、

(2) 到達目標Bについて

- ・ ネット社会のプラス面マイナス面の問題提起を最初に追加している。
- ・ 健康被害や情報操作に関する記述を追加している。
- ・ ネット社会での倫理観の記述は、プラス面マイナス面もあり限定できないこともあり、今回は外すことにした。

(3) プロジェクト演習教材

- ・ プロジェクトの定義について指摘があり確認することにした。
- ・ 取り扱いテーマとしては、地域課題や地域活性化など、例えば高齢化や買い物難民等の問題について意見があった。

(4) テータ分析入門教材

- ・ データサイエンスとしていたタイトルは、データ分析とすることにした。
- ・ 取り扱うデータについて意見があったが、特にランキング作成に絞り込んだキーワードはあまり適切では評価だった。
- ・ 分析の部分では、他の教材に合わせて5W2Hでの対応にする。

3. 教材有効性の検証方法について

- ・ アンケート形式で評価を受けることが提案された。
- ・ 授業の流れなどで、考えてします、戸惑う部分などの項目を入れてはどうか。
- ・ 到達目標ABCの説明が必要ではないか。
- ・ 学生が見て、理解できるレベルになっているか否か。
- ・ 例示教材としての打ち出しで、テーマによって変更してもらうことが考えられる。
- ・ 例えば、この教材を使ってみたいですか、実際に反転授業を行ってみたいですかなどの質問も考えられる。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回の委員会は、7月13日（金）17時から開催し、継続検討する。また、3コマ反転授業の教材は事前に個別打ち合わせを行うことにした。